【発表原稿】

これからmippyの発表を始めます。よろしくお願いします。

突然ですが、みなさんは今健康ですか？？

現代社会において、不健康な生活様式が広まっていることは明らかです。私たちの健康は最も貴重な資産の一つであり、その大切さを忘れてはなりません、しかし、不健康な食事や運動不足、ストレスの多い生活など、私たちは自らの健康を軽視している傾向にあります。

しかし、近年、健康管理への関心が高まっている人も増えています。これは、ストレスや不規則な生活習慣による健康への影響に対する意識の向上が要因です。

そこで、私たちD1チームの作ったアプリ名はmippyです。

このアプリでは、人々が健康な生活を送るための手助けをします。

アプリ名の由来はこの通り（スライド）です。

「私たちは、健康を最大限に活かし、心配事を最小限にすることに取り組んでいます。また、明日をより良いものにするためのケアを革新的に提供しています。ユーザの健康を優先し、常にサポートすることを心掛けています。さらに、生活習慣病などの予防を促進し、。あなたの健康は私たちの最優先事項です。」

このアプリでは、Webでの健康管理を目的としており、システムの想定利用者は健康を気にしている社会人がメインターゲットとなります。

アプリの詳細について紹介します。  
このアプリでは、ユーザが摂取した食事のカロリーを記録し、それを元にグラフを形成します。このグラフは、日々の食事の摂取カロリーの変化を視覚的に分かりやすく表示します。  
また、ユーザは食事を記録するためにアプリ内のデータベースにアクセスします。そこで、摂取した食品やドリンク、カロリー情報を入力します。アプリはこれらの情報を元に、摂取したカロリーの合計を計算し、日々の摂取カロリーの推移をグラフで表示します。

・注力した点

1つめは、カレンダー画面です。

カレンダーが先月や来月に移動した時、そのマスの中に入っている情報も移動しないようにすることや、月のはじめの曜日を基準に設定し、他の日付を算出するプログラミングを作成することが難しかったです。

工夫した点は、マス目の情報をサーブレットに送るために、情報をGETメソッドで送信しています。ただし、ボタンを押した際には見えないフォームに情報を送り、それをサーブレットに渡すようにしました。

これにより、動的な変化にも対応したカレンダーを実現しました。

２つめは、食事を記録する機能です。

データベースから食事の品目を参照することで、食事を記録でき、もしデータベースに品目が登録されていない場合は、ユーザが新たに品目を登録し、記録することができます。

3つめは、グラフ画面です。

データベース上のデータをHTML内で表示することが難しかったです。単純にデータを取り出すだけであればEL式を使用してServletにコードを書くだけで簡単に取得できますが、今回はchart.jsというグラフ描画のためのライブラリを使用しているため、月ごとにデータを分割して使用することが非常に難しい状況でした。

その中で工夫した点は、ユーザが目的の年月を選択した場合に、それに合わせて登録されたデータをグラフ上に表示した点です。

・実装できなかった点

元々実装したかった機能は、メールアドレスと秘密の質問の回答が一致した場合に、ポップアップ画面が表示され、その画面でパスワード変更ができる仕組みでした。メールアドレスや秘密の質問の回答が一致した場合には、同じページにフォワードすることは実現できました。しかし、時間の制約から、フォワードされたページでポップアップ画面を表示し、操作可能にすることはできませんでした。そのため、代わりに異なるページに移動してパスワードの変更を行う方式に仕様変更を行いました。

では実際にアプリを動かしてみます。（デモンストレーション）

まとめ（メンバーから一言）

謝辞

Webアプリ開発の発表に関わっていただいたすべての方々に深く感謝の意を表します。

研修に参加させていただいた企業の皆様、講師の皆様にも、お力添えいただきましたことを心から感謝申し上げます。

私たちはこの場を借りて、Webアプリ開発の発表に関わっていただいたすべての方々に深く感謝の意を表します。特に、研修に参加させていただいた企業の皆様には、ご協力とお気遣いに心から感謝申し上げます。

研修先での講師の皆様にも、お力添えいただきましたことを心から感謝いたします。貴重な知識と経験を惜しみなく共有していただき、私たちの成長に大きく貢献してくださり、心から感謝しています。

最後に、ご協力いただいたすべての関係者の方々に心から感謝申し上げます。皆様のお力添えがなければ、この発表は実現しなかったでしょう。心から感謝しております。

以上でmippyの発表を終わります、ご清聴ありがとうございました。